

補助金チェックシート

(1)補助の内容		作成年度	30 年度					
1補助金名称	沼津医師会補助金		2担当課名	健康推進課				
3総合計画の施策の柱	1-2							
4予算科目	款	4	項	1	目	5	事業コード	0425
5現在考えている事業期間	終期設定の有無		無					
	開始	H9	年度	~	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)
6根拠例規の有無	有	例規名称	社団法人沼津医師会事業補助金交付要綱					
7必須業務	必須でない							
8性質別分類①	d市単独助成			9性質別分類②	a運営費補助			
10交付先分類	c特定団体(その他)							
11交付先	沼津医師会							
12補助金の目的	裾野市の保健事業及び医療環境の充実を図るため、沼津医師会の実施する事業運営に対し補助する							
13補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	保健事業及び医療環境の充実							
14補助対象者・団体等が補助金で行う活動	保健事業の円滑な実施及び充実を図る							
15積算根拠の有無	有							
16積算の考え方 計算式	当該事業に要する経費のうち市長が必要と認める経費							
17補助対象経費の設定の有無	無							
18補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費	積立金
その他補助対象の項目								
19団体等の構成員数	28 年度	29 年度	補足					
団体	1	1						
人数	366	352						
	決算		予算	(千円)				
20市の補助金の財源	28 年度	29 年度	30 年度	補足				
国・県支出金	0	0	0					
その他補助金	0	0	0					
一般財源	1,792	1,771	1,771					
合計	1,792	1,771	1,771					
21団体・事業の財務内容	28 年度	29 年度	補足					
補助金助成金	市	1,792	1,771					
	その他	14,222	15,577					
事業収入	1,578,856	1,583,590						
会費(自己負担等)	18,472	18,636						
繰越金	0	0						
その他	120,940	117,767						
合計	1,734,282	1,737,341						
市の補助金の割合	0%	0%						

補助金名称	沼津医師会補助金	担当課名	健康推進課
-------	----------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	沼津医師会補助金	担当課名	健康推進課
-------	----------	------	-------

(4) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	2市2町で協調補助のため協議を要する
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確 になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の 補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分 の1以内になっているか	△	補助対象経費を2市2町の人口割にて算出
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額 は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(5) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	保健事業及び医療環境の充実
2達成状況	各種検診や医療連携業務など円滑に実施されており、達成できている
3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	市の保健事業、災害医療対策等の充実が図られている

(6) 今後の方向性

今後の方向性	dその他
--------	------

「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由		見直しの内容	
		見直しの時期	

「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	沼津医師管内2市2町と医師会との合意により決定されるものであり、市単独での見直しは困難である。また、市の保健事業、医療環境の充実に必要である。
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

		作成年度	30 年度					
1補助金名称	沼津医師会生活習慣病健診事業費補助金		2担当課名	健康推進課				
3総合計画の施策の柱	1-2							
4予算科目	款	4	項	1	目	5	事業コード	0425
5現在考えている 事業期間	終期設定の有無		無					
	開始	H9	年度	~	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)
6根拠例規の有無	有	例規名称	社団法人沼津医師会事業補助金交付要綱					
7必須業務	必須でない							
8性質別分類①	d市単独助成			9性質別分類②	b事業費補助			
10交付先分類	c特定団体(その他)							
11交付先	沼津医師会							
12補助金の目的	裾野市の保健事業及び医療環境の充実を図るため、沼津医師会の実施する事業に対し補助する							
13補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	保健事業及び医療環境の充実							
14補助対象者・団体等が補助金で行う活動	各種検(健)診等審査事業							
15積算根拠の有無	有							
16積算の考え方 計算式	当該事業に要する経費のうち市長が必要と認める経費							
17補助対象経費の設定の有無	無							
18補助対象経費の内容	交際費	慶弔費	飲食費	懇親会費	積立金			
その他補助対象の項目								
19団体等の構成員数	28 年度	29 年度	補足					
団体								
人数								
	決算		予算	(千円)				
20市の補助金の財源	28 年度	29 年度	30 年度	補足				
国・県支出金	0	0	0					
その他補助金	0	0	0					
一般財源	298	295	295					
合計	298	295	295					
21団体・事業の財務内容	28 年度	29 年度	補足					
補助金 助成金	市	298	295					
	その他	1,504	1,507					
事業収入	0	0						
会費(自己負担等)	0	0						
繰越金	0	0						
その他	6,357	6,983						
合計	8,159	8,785						
市の補助金の割合	4%	3%						

補助金名称	沼津医師会生活習慣病健診事業費補助金	担当課名	健康推進課
-------	--------------------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	沼津医師会生活習慣病健診事業費補助金	担当課名	健康推進課
-------	--------------------	------	-------

(4) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	2市2町で協調補助のため協議を要する
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確 になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の 補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分 の1以内になっているか	△	補助対象経費を2市2町の人口割にて算出
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額 は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(5) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	保健事業及び医療環境の充実	
2達成状況	特定健診及び各種検診のほか、重症化予防事業など円滑に実施されており、達成できている	
3補助効果の評価	b一定の効果をあげている	
4評価の理由	市の健康診査事業の充実が図られている	

(6) 今後の方向性

今後の方向性	dその他
--------	------

「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由		見直しの内容	
		見直しの時期	

「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	沼津医師管内2市2町と医師会との合意により決定されるものであり、市単独での見直しは困難である。また、市の保健事業、医療環境の充実に必要である。
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

		作成年度	30 年度	
1補助金名称	裾野市断酒会補助金		2担当課名	社会福祉課
3総合計画の施策の柱	1-3			
4予算科目	款	3	項	1
			目	1
			事業コード	0301
5現在考えている事業期間	終期設定の有無	無		
	開始	H17以前	年度	～
			終期(予定)	—
			年度	(終期設定有の場合のみ)
6根拠例規の有無	有	例規名称	裾野市福祉関係団体事業費補助金交付要綱	
7必須業務	必須でない			
8性質別分類①	d市単独助成		9性質別分類②	a運営費補助
10交付先分類	c特定団体(その他)			
11交付先	裾野市断酒会			
12補助金の目的	アルコール依存症者の更正相談等、酒害に対する活動を行うため。			
13補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	アルコール依存症者等の更正や酒害予防。			
14補助対象者・団体等が補助金で行う活動	酒害相談活動等。			
15積算根拠の有無	無			
16積算の考え方 計算式				
17補助対象経費の設定の有無	無			
18補助対象経費の内容	交際費	慶弔費	飲食費	懇親会費
				積立金
その他補助対象の項目				
19団体等の構成員数	28 年度	29 年度	補足	
団体	1	1		
人数	13	13		
	決算		予算	(千円)
20市の補助金の財源	28 年度	29 年度	30 年度	補足
国・県支出金	0	0	0	
その他補助金	0	0	0	
一般財源	46	46	46	
合計	46	46	46	
21団体・事業の財務内容	28 年度	29 年度	補足	
補助金	46	46		
助成金	0	0		
事業収入	0	0		
会費(自己負担等)	234	225		
繰越金	0	0		
その他	0	0		
合計	280	271		
市の補助金の割合	16%	17%		

補助金名称	裾野市断酒会補助金	担当課名	社会福祉課
-------	-----------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	△	広い市民という観点では否
④市民ニーズが高い事業か	△	一部市民のニーズとなる
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか(ある→○、ない→×)	△	影響が不明
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	裾野市断酒会補助金	担当課名	社会福祉課
-------	-----------	------	-------

(4) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	設定なし
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確 になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の 補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分 の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額 は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(5) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	アルコール依存症者等の更正や酒害予防。
2達成状況	地域福祉の増進に寄与している
3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	代替のない組織であり、活動がなされていることが評価できる

(6) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続
--------	----------

「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	金額の精査は必要であるが、地域福祉増進のため	見直しの内容	
		見直しの時期	

「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

		作成年度	30 年度	
1補助金名称	ボランティア活動費補助		2担当課名	社会福祉課
3総合計画の施策の柱	1-3			
4予算科目	款	3	項	1
			目	1
			事業コード	0301
5現在考えている事業期間	終期設定の有無		無	
	開始	H17以前	年度	～
			終期(予定)	—
			年度	(終期設定有の場合のみ)
6根拠例規の有無	有	例規名称	裾野市ボランティア活動費補助金交付要綱	
7必須業務	必須でない			
8性質別分類①	d市単独助成		9性質別分類②	a運営費補助
10交付先分類	c特定団体(その他)			
11交付先	各ボランティア団体			
12補助金の目的	在宅福祉事業に関するボランティア活動を実施しているボランティア団体等に対し、安定した活動を促進するため。			
13補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	視覚障がい者、聴覚障がい者の生活向上や生活向上や、災害時の支援体制強化。			
14補助対象者・団体等が補助金で行う活動	関係団体行事への参加や、研修等。			
15積算根拠の有無	有			
16積算の考え方 計算式	5人以上10人未満 5,000円 10人以上30人未満 10,000円 30人以上50人未満 30,000円 50人以上 70,000円			
17補助対象経費の設定の有無	無			
18補助対象経費の内容	交際費	慶弔費	飲食費	懇親会費
				積立金
その他補助対象の項目				
19団体等の構成員数	28 年度	29 年度	補足	
団体	2	3		
人数	51	51		
	決算		予算	(千円)
20市の補助金の財源	28 年度	29 年度	30 年度	補足
国・県支出金	0	0	0	
その他補助金	0	0	0	
一般財源	40	50	70	
合計	40	50	70	
21団体・事業の財務内容	28 年度	29 年度	補足	
補助金	40	50		
助成金	0	0		
事業収入	0	0		
会費(自己負担等)	34	70		
繰越金	31	29		
その他	0	30		
合計	105	179		
市の補助金の割合	38%	28%		

補助金名称	ボランティア活動費補助	担当課名	社会福祉課
-------	-------------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	△	特定のニーズに限定される
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	ボランティア活動費補助	担当課名	社会福祉課
-------	-------------	------	-------

(4) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	設定無し
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確 になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の 補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分 の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額 は適切か	△	団体によっては繰越金が大きいのところがあるが、減少傾向である
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	△	ボランティア団体であり、利益性が乏しい
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(5) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	視覚障がい者、聴覚障がい者の生活向上や生活向上や、災害時の支援体制強化。
2達成状況	各団体が活動を行うことにより、地域福祉が増進している。
3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	代替がない稀有なボランティア団体の活動が行われることが地域福祉の増進に直結している

(6) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続
--------	----------

「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	社会福祉協議会からの助成との 住み分けの検討は必要だが、地 域福祉の増進のため、制度とし ては継続が望ましい。	見直しの内容	
		見直しの時期	

「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の 内容	
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

		作成年度	30 年度	
1補助金名称	市老人クラブ連合会補助金		2担当課名	社会福祉課
3総合計画の施策の柱	1-4			
4予算科目	款	3	項	1
			目	2
			事業コード	0307
5現在考えている事業期間	終期設定の有無		無	
	開始	H17以前	年度	～
			終期(予定)	—
			年度	(終期設定有の場合のみ)
6根拠例規の有無	有	例規名称	裾野市老人クラブ等活動費補助金交付要綱	
7必須業務	必須でない			
8性質別分類①	b (市の上乗せあり) 国・県の制度との連動		9性質別分類②	a運営費補助
10交付先分類	b特定団体(市事務局)			
11交付先	裾野市老人クラブ連合会			
12補助金の目的	高齢者の生きがいを高め、健康づくり活動及びボランティア活動をはじめとした地域を豊かにする活動に対し補助をする。			
13補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	高齢者の健康増進を図り、豊かな地域づくりを推進する。			
14補助対象者・団体等が補助金で行う活動	各種スポーツ大会の開催、友愛・奉仕活動の推進。			
15積算根拠の有無	無			
16積算の考え方 計算式				
17補助対象経費の設定の有無	無			
18補助対象経費の内容	交際費	慶弔費	飲食費	懇親会費
				積立金
その他補助対象の項目				
19団体等の構成員数	28 年度	29 年度	補足	
団体	1	1		
人数	1682	1656		
	決算		予算	(千円)
20市の補助金の財源	28 年度	29 年度	30 年度	補足
国・県支出金	654	659	1,048	
その他補助金	0	0	0	
一般財源	970	965	577	
合計	1,624	1,624	1,625	
21団体・事業の財務内容	28 年度	29 年度	補足	
補助金				
助成金				
市	1,624	1,624		
その他	519	265		
事業収入	0	0		
会費(自己負担等)	281	267		
繰越金	465	425		
その他	35	2		
合計	2,924	2,583		
市の補助金の割合	56%	63%		

補助金名称	市老人クラブ連合会補助金	担当課名	社会福祉課
-------	--------------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	市老人クラブ連合会補助金	担当課名	社会福祉課
-------	--------------	------	-------

(4) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	設定無し
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確 になっているか	△	運営補助に充てられている
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の 補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分 の1以内になっているか	△	補助対象経費が定まっていないため。
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額 は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	△	地区老人クラブへの助成がなされている
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(5) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	高齢者の健康増進を図り、豊かな地域づくりを推進する。
2達成状況	地域で暮らす高齢者の健康増進に寄与している
3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	代替のない組織であり、活動がなされていることが評価できる

(6) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続
--------	----------

「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	金額の精査は必要であるが、老人福祉法に規定された団体であり、高齢者福祉に寄与しているため	見直しの内容	
		見直しの時期	

「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1)補助の内容		作成年度	30 年度					
1補助金名称	単位老人クラブ補助金		2担当課名	社会福祉課				
3総合計画の施策の柱	1-4							
4予算科目	款	3	項	1	目	2	事業コード	0307
5現在考えている事業期間	終期設定の有無		無					
	開始	H17以前	年度	~	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)
6根拠例規の有無	有	例規名称	裾野市老人クラブ等活動費補助金交付要綱					
7必須業務	必須でない							
8性質別分類①	b(市の上乗せあり)国・県の制度との連動			9性質別分類②	a運営費補助			
10交付先分類	c特定団体(その他)							
11交付先	各単位老人クラブ							
12補助金の目的	高齢者の生きがいを高め、健康づくり活動及びボランティア活動をはじめとした地域を豊かにする活動に対し補助をする。							
13補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	高齢者の健康増進を図り、豊かな地域づくりを推進する。							
14補助対象者・団体等が補助金で行う活動	奉仕活動、スポーツ大会の開催、健康増進活動。							
15積算根拠の有無	有							
16積算の考え方 計算式	人数割							
17補助対象経費の設定の有無	無							
18補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費	積立金
その他補助対象の項目								
19団体等の構成員数	28 年度	29 年度	補足					
団体	32	31						
人数	1682	1656						
	決算		予算	(千円)				
20市の補助金の財源	28 年度	29 年度	30 年度	補足				
国・県支出金	1,052	1,048	1,034					
その他補助金	0	0	0					
一般財源	853	796	921					
合計	1,905	1,844	1,955					
21団体・事業の財務内容	28 年度	29 年度	補足					
補助金 助成金	市	1,905	1,844					
	その他	3,214	3,004					
事業収入	0	69						
会費(自己負担等)	2,307	2,855						
繰越金	2,992	3,653						
その他	1,787	1,395						
合計	12,205	12,820						
市の補助金の割合	16%	14%						

補助金名称	単位老人クラブ補助金	担当課名	社会福祉課
-------	------------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	有	→	2見直した年度	H28	年度
3内容	人数に応じた助成額の上限を廃止				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	単位老人クラブ補助金	担当課名	社会福祉課
-------	------------	------	-------

(4) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	設定無し
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確 になっているか	△	運営補助に充てられている
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の 補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分 の1以内になっているか	△	補助対象経費が定まっていないため。
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額 は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(5) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	高齢者の健康増進を図り、豊かな地域づくりを推進する。
2達成状況	地域で暮らす高齢者の健康増進に寄与している
3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	代替のない組織であり、活動がなされていることが評価できる

(6) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続
--------	----------

「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	老人福祉法に規定された団体であり、高齢者福祉に寄与しているため	見直しの内容	
		見直しの時期	

「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

		作成年度	30 年度	
1補助金名称	老人クラブ生きがい生産活動補助金		2担当課名	社会福祉課
3総合計画の施策の柱	1-4			
4予算科目	款	3	項	1
			目	2
			事業コード	0307
5現在考えている事業期間	終期設定の有無		無	
	開始	H17以前	年度	～
			終期(予定)	—
			年度	(終期設定有の場合のみ)
6根拠例規の有無	有	例規名称	裾野市老人クラブ等活動費補助金交付要綱	
7必須業務	必須でない			
8性質別分類①	d市単独助成		9性質別分類②	b事業費補助
10交付先分類	c特定団体(その他)			
11交付先	裾野市老人クラブ連合会			
12補助金の目的	高齢者の生きがいを高め、健康づくり活動及びボランティア活動をはじめとした地域を豊かにする活動に対し補助をする。			
13補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	高齢者の健康増進を図り、豊かな地域づくりを推進する。			
14補助対象者・団体等が補助金で行う活動	花壇の手入れ等。			
15積算根拠の有無	有			
16積算の考え方 計算式	5地区老人クラブ 97,470円×5地区			
17補助対象経費の設定の有無	無			
18補助対象経費の内容	交際費	慶弔費	飲食費	懇親会費
				積立金
その他補助対象の項目				
19団体等の構成員数	28 年度	29 年度	補足	
団体				
人数				
	決算		予算	(千円)
20市の補助金の財源	28 年度	29 年度	30 年度	補足
国・県支出金	351	375	358	
その他補助金	0	0	0	
一般財源	136	112	129	
合計	487	487	487	
21団体・事業の財務内容	28 年度	29 年度	補足	
補助金				
助成金				
市	487	487		
その他	0	0		
事業収入	0	0		
会費(自己負担等)	0	0	老人クラブ連合会における特定事業に対する助成	
繰越金	0	0		
その他	0	0		
合計	487	487		
市の補助金の割合	100%	100%		

補助金名称	老人クラブ生きがい生産活動補助金	担当課名	社会福祉課
-------	------------------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	△	必要に応じて協働の必要がある
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか(ある→○、ない→×)	○	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	老人クラブ生きがい生産活動補助金	担当課名	社会福祉課
-------	------------------	------	-------

(4) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	設定無し
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確 になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の 補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分 の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額 は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(5) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	高齢者の健康増進を図り、豊かな地域づくりを推進する。
2達成状況	地域で暮らす高齢者の健康増進に寄与している
3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	代替のない組織であり、活動がなされていることが評価できる

(6) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続
--------	----------

「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	老人福祉法に規定された団体であり、高齢者福祉に寄与しているため	見直しの内容	
		見直しの時期	

「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

		作成年度	30 年度	
1補助金名称	認可外保育施設運営費補助金		2担当課名	保育課
3総合計画の施策の柱	1-2			
4予算科目	款	3	項	2
			目	2
			事業コード	0345
5現在考えている事業期間	終期設定の有無		無	
	開始	H19以降	年度	～
			終期(予定)	—
			年度	(終期設定有の場合のみ)
6根拠例規の有無	有	例規名称	裾野市認可外保育施設運営事業費補助金交付要綱	
7必須業務	必須でない			
8性質別分類①	d市単独助成		9性質別分類②	a運営費補助
10交付先分類	c特定団体(その他)			
11交付先	認可外保育施設 (現在交付該当施設なし)			
12補助金の目的	認証保育施設の充実及び認可保育所における待機児童数の抑制			
13補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	認可保育所における待機児童の解消			
14補助対象者・団体等が補助金で行う活動	入園希望者の受け入れ			
15積算根拠の有無	有			
16積算の考え方 計算式	予算の範囲内			
17補助対象経費の設定の有無	有			
18補助対象経費の内容	交際費	×	慶弔費	×
			飲食費	×
			懇親会費	×
			積立金	×
その他補助対象の項目	人件費、運営費など			
19団体等の構成員数	28 年度	29 年度	補足	
団体	-	-		
人数	-	-		
	決算		予算	(千円)
20市の補助金の財源	28 年度	29 年度	30 年度	補足
国・県支出金	-	-	-	
その他補助金	-	-	-	
一般財源	-	-	-	
合計	-	-	-	
21団体・事業の財務内容	28 年度	29 年度	補足	
補助金	-	-	該当施設なし	
助成金	-	-		
市	-	-		
その他	-	-		
事業収入	-	-		
会費(自己負担等)	-	-		
繰越金	-	-		
その他	-	-		
合計	-	-		
市の補助金の割合	-	-		

補助金名称	認可外保育施設運営費補助金	担当課名	保育課
-------	---------------	------	-----

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	-	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	-	
③広く市民生活の向上に貢献するか	-	
④市民ニーズが高い事業か	-	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	-	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか(ある→○、ない→×)	-	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	-	
⑧最適な補助対象か	-	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	-	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	-	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	-	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	-	

補助金名称	認可外保育施設運営費補助金	担当課名	保育課
-------	---------------	------	-----

(4) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	-	
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	-	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確 になっているか	-	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の 補助対象として適当でない経費が含まれていないか	-	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分 の1以内になっているか	-	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額 は適切か	-	
⑦類似した補助金はないか	-	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	-	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	-	
⑩履行確認は、適切にできているか	-	

(5) 補助効果の検証

1補助金により期待さ れる効果・目標 (アウトカム、アウトプ ット、具体的な数値等)	認可保育所における待機児童の解消
2達成状況	ここ数年での支給実績なし。
3補助効果の評価	実績が無いため評価不能
4評価の理由	実績が無いため評価不能

(6) 今後の方向性

今後の方向性	b見直した上で継続
--------	-----------

「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由		見直しの内容	周辺制度に合わせて見直しを実施する。
		見直しの時期	H30

「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の 内容	
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

		作成年度	30 年度	
1補助金名称	認証保育所利用者補助金		2担当課名	保育課
3総合計画の施策の柱	1-2			
4予算科目	款	3	項	2
			目	2
			事業コード	0345
5現在考えている事業期間	終期設定の有無		無	
	開始	H28	年度	～
			終期(予定)	—
			年度	(終期設定有の場合のみ)
6根拠例規の有無	有	例規名称	裾野市認証保育所利用者補助金交付要綱	
7必須業務	必須でない			
8性質別分類①	d市単独助成		9性質別分類②	dその他
10交付先分類	d不特定団体及び個人			
11交付先	認証保育所に入所している児童の保護者(個人) H29末時点、交付対象者なし			
12補助金の目的	保護者の保育料の負担軽減			
13補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	認可保育所における待機児童の解消			
14補助対象者・団体等が補助金で行う活動	認証保育所への児童の入園			
15積算根拠の有無	有			
16積算の考え方 計算式	10,000円/月・人 ただし、 A-40,000円<10,000円 のとき A-40,000円 A:保護者が負担した保育料の月額			
17補助対象経費の設定の有無	有			
18補助対象経費の内容	交際費	×	慶弔費	×
			飲食費	×
			懇親会費	×
			積立金	×
その他補助対象の項目	保育料の負担を軽減			
19団体等の構成員数	28 年度	29 年度	補足	
団体				
人数				
	決算		予算	(千円)
20市の補助金の財源	28 年度	29 年度	30 年度	補足
国・県支出金	—	—	—	
その他補助金	—	—	—	
一般財源	—	—	—	
合計	0	0	0	
21団体・事業の財務内容	28 年度	29 年度	補足	
補助金			個人に対するの補助である。	
助成金				
市	—	—		
その他	—	—		
事業収入	—	—		
会費(自己負担等)	—	—		
繰越金	—	—		
その他	—	—		
合計	0	0		
市の補助金の割合	#VALUE!	#VALUE!		

補助金名称	認証保育所利用者補助金	担当課名	保育課
-------	-------------	------	-----

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	有	→	2見直した年度	H29	年度
3内容	補助内容の精査				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	-	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	-	
③広く市民生活の向上に貢献するか	-	
④市民ニーズが高い事業か	-	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	-	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	-	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	-	
⑧最適な補助対象か	-	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	-	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	-	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	-	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	-	

補助金名称	認証保育所利用者補助金	担当課名	保育課
-------	-------------	------	-----

(4) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	-	
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	-	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確 になっているか	-	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の 補助対象として適当でない経費が含まれていないか	-	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分 の1以内になっているか	-	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額 は適切か	-	
⑦類似した補助金はないか	-	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	-	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	-	
⑩履行確認は、適切にできているか	-	

(5) 補助効果の検証

1補助金により期待さ れる効果・目標 (アウトカム、アウトプ ット、具体的な数値等)	認可保育所における待機児童の解消
2達成状況	ここ数年での支給実績なし。
3補助効果の評価	実績が無いため評価不能
4評価の理由	実績が無いため評価不能

(6) 今後の方向性

今後の方向性	b見直した上で継続
--------	-----------

「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由		見直しの内容	周辺制度に合わせて見直しを実施する。
		見直しの時期	H30

「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の 内容	
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

		作成年度	30 年度	
1補助金名称	私立幼稚園授業料等負担軽減事業費補助金		2担当課名	保育課
3総合計画の施策の柱	1-2			
4予算科目	款	10	項	4
			目	1
			事業コード	1045
5現在考えている事業期間	終期設定の有無		無	
	開始	H22	年度	～
			終期(予定)	—
			年度	(終期設定有の場合のみ)
6根拠例規の有無	有	例規名称	裾野市私立幼稚園授業料等負担軽減事業費補助金交付要綱	
7必須業務	必須でない			
8性質別分類①	d市単独助成		9性質別分類②	dその他
10交付先分類	d不特定団体及び個人			
11交付先	個人			
12補助金の目的	私立幼稚園に就園する幼児の保護者に対し、家庭の所得状況に応じて経済的負担を軽減を図り、就園の機会を確保する。			
13補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	私立幼稚園に就園する機会の確保。			
14補助対象者・団体等が補助金で行う活動	幼稚園への就園。			
15積算根拠の有無	有			
16積算の考え方 計算式	$(16,000円 - \text{利用者負担金額}) \times 12 - \text{就園奨励費} + 2,000円 \times 12$			
17補助対象経費の設定の有無	無			
18補助対象経費の内容	交際費	慶弔費	飲食費	懇親会費
				積立金
その他補助対象の項目	保育料			
19団体等の構成員数	28 年度	29 年度	補足	
団体				
人数				
	決算		予算	(千円)
20市の補助金の財源	28 年度	29 年度	30 年度	補足
国・県支出金	0	0	0	
その他補助金	0	0	0	
一般財源	10,994	10,231	10,206	
合計	10,994	10,231	10,206	
21団体・事業の財務内容	28 年度	29 年度	補足	
補助金助成金	市	10,994	10,231	個人に対するの補助である。
	その他	-	-	
事業収入	-	-		
会費(自己負担等)	-	-		
繰越金	-	-		
その他	-	-		
合計	10,994	10,231		
市の補助金の割合	100%	100%		

補助金名称	私立幼稚園授業料等負担軽減事業費補助金	担当課名	保育課
-------	---------------------	------	-----

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	有	→	2見直した年度	H29	年度
3内容	就園奨励補助金との整合				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか(ある→○、ない→×)	○	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	私立幼稚園授業料等負担軽減事業費補助金	担当課名	保育課
-------	---------------------	------	-----

(4) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	政策的に始めた経緯がある
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確 になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の 補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分 の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額 は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(5) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	私立幼稚園に就園する機会の確保。
2達成状況	目的を達成している
3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	利用者負担が軽減されている

(6) 今後の方向性

今後の方向性	b見直した上で継続
--------	-----------

「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由		見直しの内容	対象となる私立幼稚園の新制度移行の動向を検証しながら見直しをしていく。
		見直しの時期	

「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			